

調布教会 教会学校 週報

2025年度 みことば



「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」
ヨハネによる福音書 3章16節a より

きょうかいがっこうれいはい

教会学校礼拝プログラム

2026年 2月1日

前奏
*賛美

お祈り

「ぼくの心の中が」

天の父なる神様、今朝も礼拝をおさげ出来ますことを感謝いたします。わたしたちはイエスマがふたたび来られて本当に平和な世界が来ることを待ち望んでいます。自分の中にある不安や怒りを差し出して、あなたを信頼して歩む者とさせてください。
このお祈りをイエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン

聖書
交読詩編

ヨハネの黙示録 1章 12～16節 (p 440)

交読詩編 (3) 詩編 19より p. 201

説教

「主よ、来てください」

ローマ皇帝ドミティアヌス帝は、自分こそが神であると言いました。イエスさまを信じるクリスチャンたちは皇帝に従わなかったので迫害を受けました。ヨハネも捕らえられて島流しにされ、パトモス島という島に一人でした。ある日、ヨハネは自分に語りかける声を聞きました。振り向くとイエスさまがおられたのです。イエスさまの姿は、かつて弟子たちが一緒に過ごしたイエスさまとは全く違っていました。髪の毛は雪のように白く、目は燃え上がる炎、口からは剣が突き出て、顔は強く照り輝く太陽のようでした。ヨハネはその姿を見て恐ろしさのあまり倒れてしまいます。イエスさまは平和な世界を造るために再び来られたのです。ヨハネに「恐れてはならない」と語られるのです。

暗唱聖句

ひとたび死んだが、見よ、世々限りなく生きており、死と陰府の鍵を持っている。

ヨハネの黙示録1章18節b

黙想タイム

*賛美

「新しい天と地を見たとき」 (21-580)

献金と感謝のお祈り 24-1

*主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救いいたしたまえ。
国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

お知らせ

- ・今日は2月のお誕生会です。みんなでお祝いしましょう。
- ・教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおさげしましょう。

*賛美
*祝福
後奏

36 いまでかけよう

八木浩史牧師

<せいしょ>

せいしょかしよ せいしょきょうかい きょうどうやく
聖書箇所「聖書協会 共同訳」

ヨハネの黙示録 1 章 12～16 節

(p 440)

12 私^{わたし}は、語りかける声^{こえ}の主^{ぬし}を見よう^みと振り向^ふいた。振り向^むくと、七^{なな}つの金^{きん}の燭^{しょく}台^{だい}が見^みえ、
13 燭^{しょく}台^{だい}の間^{あいだ}には人^{ひと}の子^このような方^{かた}がおり、足元^{あしもと}まで届^{とど}く衣^{ころも}を着^きて、胸^{むね}には金^{きん}の帯^{おび}を締^しめてい
た。
14 その方^{かた}の頭髪^{とうはつ}は白^{しろ}い羊毛^{ようもう}に似^にて雪^{ゆき}のよう^{しろ}に白^めく、目^めは燃^もえ上^あがる炎^{ほのお}、
15 足^{あし}は燃^もえている炉^ろから注^そぎ出^だされる青銅^{せいどう}のよう^{こえ}であり、声^{こえ}は大^{おお}水^{みづ}のとどろき^{おおみづ}のよう^{おおみづ}であつた。
16 また、右^{みぎ}手^てには七^{なな}つの星^{ほし}を持^もち、口^{くち}からは鋭^{すど}い両^{もろ}刃^はの剣^{けん}が突^つき出^でて、顔^{かお}は強^{つよ}く照^てり輝^{かがや}く太^{たい}陽^{よう}
のよう^{おおみづ}であつた。

<さんび>

ぼくのこころのなかが

1. ぼくのこころのなかが いつもあかるいように
イエスさまぼくによろこび よろこびをください

* (くりかえし)
ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤうたおう
ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤアーメン
2. わたしのこころのなかが いつもやさしいように
イエスさまあいのこころを あいのこころください *
3. みんなのこころのなかが いつもたのしいように
イエスさまみんなといっしょに いつもいてください *



あたしいてんとちをみたとき

1. あたらしいてんと ちをみたとき
さいしょのせかい^{さいしょのせかい}は すぎさりゆき、
あたらしいみやこ^{あたらしいみやこ} エルサレム^{エルサレム}は
はなよめのような^{はなよめのような} すがたでくる。
2. てんよりみこえが^{てんよりみこえが} ひびきわたる
「かみのたみとして^{かみのたみとして} うまれかわれ。
みかみはわれらと^{みかみはわれらと} ともにいます」。
よろこべ、たのしめ、おどりあがれ。
3. かなしみのなみだ^{かなしみのなみだ} いまぬぐわれ、
なげきもしもなく^{なげきもしもなく} ろうくもない。
ふるいものすべて^{ふるいものすべて} すぎさりゆき、
みよ、しゅはすべてをあらたにする。
4. マラナ・タ、しゅイエスよ、おいでください。
せいなるこひつじ、あけのみようじょう。
アルファよ、オメガよ、いのちのきよ、
つきないいずみよ、えいえんのしゅよ

